

フクビ イージーコートDX30 イージーコートRE30 透湿イージーコート

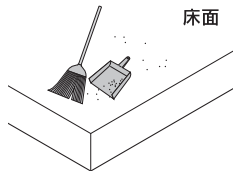
養生材

手順1 ●貼り付け床面の清掃

貼り付け面のゴミ、ホコリを取り除きます。

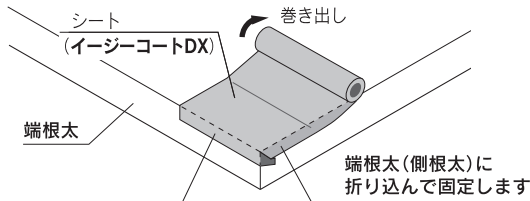
ポイント

- 貼り付けは下地が乾燥した状態で行ってください。
- 貼り付け面に釘や木片（合板のささくれ）などの突起がないことを確認してください。（シートの破れの原因になります）



手順2 ●シートの貼り始め

シートの貼り始め部分とシートの端部は端根太（側根太）に固定します。



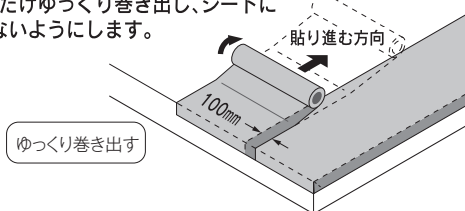
ポイント

- この時、まっすぐに貼り進めるように、位置を確認してください。
- 合板小口面に雨水が侵入しないように長めに折り込んでください。

手順3 ●シートの巻き出し

シートをまっすぐに巻き出し、重ね合わせは100mm程度を確保します。

また、シートはできるだけゆっくり巻き出し、シートに余計な張力が掛からないようにします。



ポイント

- シワが入っていないこと、曲がりなどが無いことを確認してください。
- 強風や霜など環境状況により、重ね合わせが密着しにくい場合は、養生テープを貼るなどして密着させてください。
- ※REのみ、伸縮性が強いので引張った状態で施工すると後から縮もうとする力が働き端部から剥がれてくる可能性があり、3m程度を目とし、余裕を持って巻きだしてください。

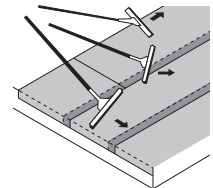
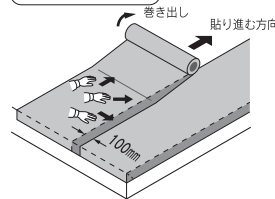
手順4 ●シートの貼り付け

位置を確認しながら、巻き出したシートの全面を手でしっかり押えながら貼り付けます。（手順3・手順4を繰り返して貼り進めます。）

貼り終わったら、水切りモップやモップなどでシート全面をしっかり押えてください。

中から外へ空気を押し出し圧着する。

器具の金具部でシートを傷つけないように注意してください。



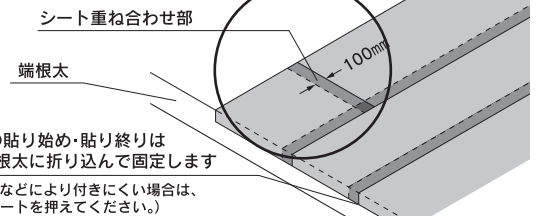
ポイント

- シートに張力が掛かり、引っ張られた状態でないことを確認して（いったん張力を緩めて）貼り付けます。
- 押さえつける際にシワや空気が入らないようにしてください。（シワやフクレなどがあると、後で剥がれてくる場合があります。）
- シワや空気が入ってしまった場合にはなるべく空気を外へ押し出し、シワ部分はよく圧着してください。
- 貼り付け面に防虫処理が施されている場合はイージーコートが付きにくいので、平板で端部を押さえて下さい。
- ※REのみ、3m程度巻き出した後に貼り付けてください。

手順5 ●つなぎ目、貼り終り

シートをつなぎ場合は、100mm程度重ね合わせます。

貼り終りは、貼り始めと同様に端根太（側根太）に固定します。



ポイント ●重ねた部分もしっかり押え、密着させてください。



注意

- 保管上の注意**
- 現場で保管する場合は、水で濡れないように注意してください。
 - 直射日光・熱・湿気を避けて保管して下さい。高温にさらされると巻き出し難くなります。
 - 保管後6カ月以内にご使用ください。
- 施工時の注意**
- イージーコートは床下専用ですので、床下張以外に使用しないで下さい。
 - 撥水コート剤など、薬剤を塗布した合板にはイージーコートを使用できません。イージーコートが張り付かないことがあります。貼り付け面に薬剤を塗布する場合はイージーコートを剥がした後に行ってください。
 - 本製品を施工する際はシートを引き出した後に一旦シートを引っ張る力を緩めて、合板の上に施工してください。引っ張られた状態で貼り付けると剥がれやすくなります。
 - イージーコートはしっかりと合板の全面に圧着してください。合板への圧着が不足していると、シートが剥がれ雨水が浸入するおそれがあります。

- 製品に継ぎ目が入っている場合がありますが、機能上の問題はありません。
- 貼り付け面が乾いていない状態で施工された場合や合板小口などに雨水が浸入した場合、合板にカビが生えたり、合板が乾燥する際に水染み跡が残ることがあります。
- 床仕上げ材の施工前には必ずイージーコートを剥がして下さい。
- イージーコートは丁寧に剥がして下さい。合板の表面が剥がれたり、合板に接着剤が残ることがあります。透湿イージーコートの場合は合板に透湿防水フィルムが残ることがあります。
- 合板の表面状態、貼り付け方や貼り付けた後の状況によっては、イージーコートを丁寧に剥がしても、糊残りや合板の表面が剥がれる場合があります。
- 透湿イージーコートは透湿機能を有しておりますので施工後合板から剥がした際に跡が残る可能性があります。
- 雨が続くなど天候状況によっては透湿イージーコートを施工した合板であっても乾燥しにくい場合があります。

使用中止

- 気温が氷点下の時
- 施工前日に雨が降った時
- 施工中に雨が降った時

貼り付け面が完全に乾燥したことを確認してから作業してください。

破れた場合

必ず補修を行ってください
（シートの重ね張り）

柱や配管廻りで使用される場合

- 切り口部は強めの方で木目の凹凸に沿うように密着させてください。
- 雨で濡れやすい箇所はシートを重ねてください。
- 突起部分には、立ち上がるように貼り付け、雨水を浸入させないでください。

●掲載の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。／●商品色は印刷により実際の色とは異なって見える場合があります。 価格に消費税は含まれていません。



本社／福井市三十八社町 33-66 ☎(0776) 38-8013 〒918-8585
東京 ☎(03)5742-6301 大阪 ☎(06)6386-6950 名古屋 ☎(052)855-2332

札幌 ☎(011)896-7500 盛岡 ☎(019)654-7511 仙台 ☎(022)287-3471
宇都宮 ☎(028)636-3521 北関東 ☎(048)661-0400 千葉 ☎(028)636-3521
神奈川 ☎(045)470-1050 新潟 ☎(025)241-7832 北陸 ☎(0776)38-8010
静岡 ☎(054)288-3600 岡山 ☎(086)232-0601 広島 ☎(082)246-7211
福岡 ☎(092)471-5800 鹿児島 ☎(099)259-0220 沖縄 ☎090-1995-2980